

個別ゼミ概要(WEB掲示用)

授業科目名	如水会寄附講義「如水ゼミ」		
ゼミ名	国際関係		
講師幹事名	鹿取克章	大学教員	武村知子
学 期	春夏	開講時間	水曜 4～5時限

【授業の目的・到達目標】

本年は、冷戦構造の終焉をもたらした象徴的事象であるベルリンの壁が崩壊して 30 年。米国・ソ連が対峙した東西冷戦は終焉したが、国際社会は引き続き大きな困難や挑戦に直面している。特に 2016 年以降は、「ポピュリズム」政治に対する問題意識も高まっているが、強権的かつ内向な政治手法は、今後とも国際関係の緊張及び不安定化を助長していくリスクがある。本ゼミでは、具体的トピックスに光を当てつつ国際政治の基本構造について考えるとともに、様々なプレーヤーの立場を分析することにより国際関係を複眼的視点でとらえることの重要性を学ぶ。また、「ポピュリズム」政治の国際関係に及ぼすリスクについても考える。

【上記目的・目標達成方法】

外務省OB及び外交実務の第一線で活躍している外務省関係者から、現下の主要な国際関係、外交問題につき話を聴き、どのようにすれば、国際社会の安定と繁栄を強化していくことができるのか、日本はどのように行動していくべきであるのかを考え、議論する。

【授業の内容と計画】

月日	氏 名	卒年 学部	社名・役職	講義内容
4/24	鹿取克章	昭 48 経	元駐インドネシア大使	国際政治とは何か—本年は、ベルリンの壁崩壊 30 周年。当時の状況を振り返りつつ国際情勢を動かす諸要因について考える
5/15	中村滋	昭 48 法	元駐マレーシア大使	冷戦後の混迷する国際情勢
5/29	藤沼篤行	平 18 法	外務省アジア太平洋州局中国・モンゴル第一課課長補佐	2019 年: 中国情勢と日中関係
6/12	今福孝男	平 5 法	外務省国際協力局政策課長	日本の国際協力
6/26	岩谷滋雄	昭 48 法	元駐オーストリア大使。元日中韓協力事務局長	日中韓三国協力の将来
7/10	河合真由美	平 19 法	外務省経済局政策課課長補佐 (サミット班長)	G20 大阪サミットの概要及び成果

【参考文献】

Hans J. Morgenthau: Politics among Nations (初稿は 1948 年。大著であるが、多くの人が認める国際政治に関する最も包括的かつ優れた文献。読破することは容易ではないが、少なくともページをめくり、論理の流れを把握し、一部でも読めば、得るところは多い)

Joseph S Nye, Jr.: Soft Power (読みやすい)

Steven Levitsky&Daniel Ziblatt: How Democracies Die(読みやすい。トランプ政権誕生を背景にポピュリズム政治を歴史的に洞察するとともにそのリスクを指摘)

【受講生に対するメッセージ、希望】

将来、皆様がいかなる分野でご活躍されるにせよ、歴史は極めて重要。特に、日本の近代史についてはよく勉強していただきたい。参考文献を一部例示します。

朝河貫一: 日本の禍機 講談社学術文庫

北岡伸一: 政党から軍部へ 日本の近代 5 中公文庫

重光葵: 昭和の動乱 上下 中央文庫

中村隆英: 昭和史 I、II 東洋経済新報社